

閉会中の常任委員会調査

0122 厚生福祉常任委員会

病院の赤字経営原因明らかとなる

●湯沢町保健医療センター（湯沢病院）の現状

井上管理者の説明

「地域のかかりつけ病院」「365日の救急対応」「医療・保険・福祉の連携」を理念とした運営を行ってきた。

今は収入の減少により慢性的な赤字傾向にある。

る人口が減っている。

対応策

●診療圏を拡大する。「ゆきあかり診療所」の開設もその一環。
●様々な加算の方途を考える。
●コスト削減に努力する。

主な質疑

問 8000万円の運営補助金を、もっと上げてほしいという要求は町側に伝えてあるのか。

答 伝えてある。我々も可能な限り節約はしているが、できれば今年度分から配慮していただけたらありがたい。

●平成18年の診療報酬改定による診療報酬の引き下げ。特に療養病床からの収入が減った。
●周辺に新規の特養が開設され、療養病床入院患者が減った。
●湯沢町の人口が減り、入院や外来の対象とな

0128 総務文教常任委員会

湯沢高原の運営とパリ童画展開催

●平成25年度町税の収納状況

●湯沢高原の運営状況

●統合文教施設整備と教育体制の進捗状況

主な質疑

問 町税の収納状況

答 収入額で比較すると、合計額で前年対比2000万円の増で、滞納繰越で2300万円の減。

問 湯沢高原の運営状況

答 6月～12月の入込数は136347名
前年比 +2538名
6月～12月の売上 2億9850万円

前年比 +290万円

●ファミリー層の来場が多く、アジア系外国人の来場が多い。

問 今後のスケジュール（湯沢学園）

答 3月17日 校舎棟引き渡し
3月18日～20日・25日・26日 購入備品搬入
3月27日・28日 各小学校引越し

問 パリ童画展について

答 平成26年4月15日～5月3日開催。場所はパリ日本文化会館地上階。出席者は清水教育長、豊口協長岡造形大学理事長。後日、日本において凱旋展を行う。

0206 産業建設常任委員会

観光産業と冬季交通の現状は

●2014年スキー産業の現状

●平成26年度の「夏の観光宣伝」と「インバウンドの方針」

●湯沢町冬季交通の確保状況

●交差点改良の進捗状況

主な質疑

問 これまでのスキー客の入込状況は。（12月～1月中旬）

答 12月及び年末年始は良かったが、3連休後の平日は厳しい。3連休後の平日は修学旅行が入り始めているが、客単価が下がり厳しい。

問 外国人のスキー客の入込はどうか。

答 12月～年末年始で4300人。タイ・シンガポールをターゲットとしている。

問 夏の観光宣伝は。

答 北陸新幹線対策、スキー活性化事業、新潟DC事業、農業&フジロック森連携事業等に力を入れていく。

問 インバウンド対策は。

答 オーストラリア・タイ訪問キャンペーン、東南アジア諸国への宣伝・広報、広報、受入れの整備等を行いたい。

問 人気温泉ランキング50にも入っていないが。

答 湯沢は評価は高いが、知名度が低い。残念である。

※インバウンドとは「入ってくる」という意味。旅行業界では外国人旅行者を誘致するの意